

令和5年度 事業報告

I. 事業の総括 主旨

北九州市母子寡婦福祉会（以下、「会」という）は、ひとり親家庭と寡婦の福祉の増進を図るため、就業支援や子育て支援などを行いました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、令和2年度から中止していた「北九州市母子寡婦福祉研修大会」と「ふれあいスポーツ大会」を開催し会員同士の交流を図ることができました。また、令和元年度から指定管理を受けている、北九州市立母子・父子福祉センター（以下「センター」という）では、就業支援事業やふれあい事業等の事業を概ね計画どおりに実施しました。なお、令和5年度は指定管理の最終年度となっていました、市の方針により、令和6年度まで1年間延長になっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ここ数年、地区や本部の取り組みを制限したことで会員との出会いの機会が希薄となり、地区活動を支える役員体制を整えるのに苦慮している地区が増えてきました。また、会員の高齢化が進んでいることもあり、活動内容が地区によっては差があるため、組織力の強化や地区活動の見直しの検討が求められています。

なお、長年の懸案である会費の見直しについては、理事会にて何度も検討を重ね、「北九州市母子寡婦福祉研修大会」と「ふれあいスポーツ大会」が開催された翌年度からの見直しを確認し、令和6年度から「800円」に変更しました。

会では、今後も会員をはじめ、北九州市や社会福祉協議会、関係機関のご理解とご協力をいただきながら、ひとり親家庭及び寡婦への支援活動を進めていきます。

II. 事業別の推進状況

1. 指定管理事業

① 北九州市立母子・父子福祉センター事業

令和元年度から5年間の指定管理の指定を受け、ひとり親家庭や寡婦の方の生活の安定、自立、福祉の向上のため、家庭での困りごとや法律相談など様々な相談に応じるとともに、仕事に必要な知識や技術を身に付けるための就業支援講習会、母子・父子自立支援プログラム策定事業（就職相談）及びふれあい事業等を実施しました。

年間延べ利用者数は前年度並みとなっています。

内訳

(単位：人)

延人数	令和4年度	令和5年度
一般相談	1,234	1,360
法律相談	74	75
就業支援講習会	2,827	2,690
就職相談	1,486	1,086
ふれあい事業	191	199
その他利用者	4,433	4,791
計	10,245	10,201

② 北九州市立藍島保育所

令和元年度に園児が卒園し、令和2年度以降在園児が不在で令和5年度も休園となりました。保育所の施設維持管理は引き続き行い、週1回の保育所内の掃除や換気、そして園庭の草取り等も行いました。

令和5年度は指定管理の最終年度となっていましたが、市の方針により、令和6年度まで1年間延長となりました。

2. 受託福祉事業

① 母子関係事業（母子家庭等交流推進事業）

- ・プロのカメラマンに家族写真を撮ってもらい、現像を待つ間、家族でオリジナルフォトフレーム作りを楽しみました。
- ・「ひとり親家庭子育て交流会」は PayPay ドームでの野球観戦をする機会が少ない、ひとり親家庭の親子に、ソフトバンクホークスの試合を楽しんでもらうため7月に実施しました。
- ・「ひとり親家庭と寡婦のふれあいスポーツ大会」は10月に第一警備スポーツセンターで4年ぶりに実施することが出来ました。
- ・「ひとり親家庭親子ふれあいバスハイク」は、11月に実施しました。

「三瀬ルーベル牧場どんぐり村」では親子でバター作りを体験し、「21世紀県民の森」ではレンタサイクルや貸しボートなどで紅葉を楽しむなど、親子での思い出を残せたようです。

② ひとり親家庭等日常生活支援事業

ひとり親家庭や研修場所に家庭生活支援員を派遣し、子育て中のひとり 親家庭や寡婦を支援しています。3月に市政だよりで支援員の募集を行い、新たに5名の支援員が増えました。

③ 母子福祉資金等償還金収納事務等委託事業

ひとり親家庭等への貸付金の償還事務と児童扶養手当返還金償還指導を2名の償還職員が行っています。日中や夜間訪問などを行っていますが滞納者への貸付金請求と返還に苦慮しています。

④ 子育て世帯への臨時特別給付金データー入力等事業

新型コロナウイルス感染症に伴う子育て世帯への支援として、北九州市からデーター入力等を受託し、令和2年度から行っていましたが令和5年度で終了しました。

⑤ 産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業

妊娠中や1歳未満の子どもがいる家庭で、日中、家族から家事や育児の支援が受けられない方の家事の支援にヘルパーを派遣しました。派遣対象地域を令和5年度まで北九州市全域としていましたが、令和6年度から変更しています。

⑥ 北九州市面会交流支援事業

面会交流支援事業は、離婚又は別居により、父母と離れて暮らす子と別居している親が定期的に交流する際に、面会時の付添いなどを支援するもので、北九州市から受託し、平成28年度から行っています。

事前相談、面会交流の方法・日程の決定及び面会交流の実施は、専門的な知識や経験等を有する「NPO法人北九州おやこふれあい支援センター」に委託して実施しました。

令和5年度は新規で1件の申込みがあり、前年度からの継続3件を含め4件の支援を行いました。

⑦ 養育費確保サポート事業

養育費確保サポート事業は、ひとり親家庭が養育費を確実に受け取り、子どもが経済的な不利益を被らないようにするため、公正証書等公的書類の作成を支援する事業です。北九州市から受託し、令和3年1月から行っています。

公正証書作成に至るまでのサポートをはじめとした養育費全般についての相談を受けるアドバイザーを設置し、公正証書等の作成にかかる費用や養育費保証契約を結ぶ際の保証料を補助します。

令和5年度は、問合せ・相談が276件、補助金の申請・交付は65件（公正証書等作成支援事業64件、養育費保証支援事業1件）でした。

3. 自主福祉事業

① ふれあい行事

- ・ソフトバンク野球観戦は5月に実施。ピンクフルデーで配布された、お揃いのユニフォームを着て応援しました。
- ・クリスマス会は12月に母子部企画により、母子・父子福祉センターで開催。『国立夜須高原青少年自然の家』の指導員と一緒に、焼き杉を使いオリジナルプレート作りを親子で楽しみました。また子ども達にサンタクロースから、お菓子のプレゼントがあり大喜びでした。

② 北九州市の支援事業

- ・北九州市子ども食堂・フードパントリー支援事業として令和3年10月から毎月、第3水曜日に、ウェルとばた多目的ホールで子ども食堂を開催しました。また、子育て支援のフードパントリーは、企業や団体、フードバンクから提供を受けた食品等を毎月、対象者へ配布しました。

③ 地区の事業

新型コロナウイルス感染症が5月より2類感染症から5類感染症に移行したことを受け、「つどい」「バスハイク」「寡婦研修」などを行い、各地区会員との親睦・交流を図り充実した日を過ごしました。

④ 北九州市母子寡婦福祉研修大会（北九州市の補助金事業）

9月に戸畑市民会館中ホールにて開催。「学ぼう！ひとり親と寡婦の支援策」と題して子育て支援課の講演や、北九州市立高等学校吹奏楽部の演奏があり、最後に「申し合わせ」「決議」が採択されました。

⑤ 各種研修会等

- ・全国母子寡婦福祉研修大会と九州地区母子寡婦福祉研修大会は11月に長崎県佐世保市で開催されました。1日目はこども家庭庁の行政説明と研修討議、2日目は講演と「よさこい演舞」のアトラクションがあり、23名が参加しました。
- ・九州地区母子部長会議や北九州市母子部会議では、母子部の活動や活性化について検討しました。
- ・ひとり親家庭等日常生活支援事業の家庭生活支援員の研修は、「幼児期の食事について」「新生児との接し方」など保育にかかわる研修を9時間行いました。

4. 自主収益事業

- ① 売店経営2店舗（小倉北区役所内・若松区役所内）
- ② 公衆電話（6台）・自動販売機（6ヶ所）の設置
- ③ ふれあい福祉市場（第1・3水曜日）
- ④ 切手・ハガキ・たばこ販売
- ⑤ （株）堀内八郎兵衛・ちかまつ商店等の還元金協力会社の商品販売

上記の事業収益により、ひとり親家庭及び寡婦の支援事業をしていますが、厳しい経営状況が続き収益が減っています。母子家庭の母や寡婦の就労の場として、また、活動資金づくりのため頑張っています。

Ⅲ. その他

1. 他団体からの支援や協力寄付等

- ① 4月に小文字ライオンズクラブの招待で到津の森公園にて発泡スチロール版画を体験しました。
- ② 7月に福岡県興行生活衛生同業組合より無料映画券授与。
- ③ 8月に北九州下関フェニックスの招待で、野球観戦と選手による野球教室を体験しました。
- ④ 9月に北九州プロバスケットボールクラブより賛助金寄付授与。
- ⑤ 10月に国立夜須高原青少年自然の家より『夜須高原スマイルキャンプ』へ招待。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様日帰りとし、芋ほり体験と巨大アスレチックがある『夜須高原記念の森』を親子で楽しみました。
- ⑥ 11月にポップサーカス北九州公演事務局より無料入場券授与。
- ⑦ 12月に制服バンク福岡と一緒に「制服お譲り会」を小倉南生涯学習センターで開催。
- ⑧ 1月に八幡法人会より賛助金寄付授与。
- ⑨ 共同募金会より配分金の授与。
- ⑩ 北九州市社会福祉協議会よりソフトバンク野球観戦チケット寄付。

上記以外にもたくさんの団体からご支援いただきました。

2. 情報提供・広報活動等

- ① 北九母子会報発行（82号・83号）
- ② ひとり親家庭と寡婦の応援チラシ作成
- ③ 母子・父子福祉センターの事業案内のリーフレット配布
- ④ 母子・父子自立支援プログラム策定事業成功事例集の作成配布
- ⑤ ホームページ（母子会と母子・父子福祉センター）
- ⑥ メールマガジン（母子・父子福祉センター）
- ⑦ LINE@（母子会）

3. その他

- ① 個人情報の適切な保護管理に努め、母子・父子福祉センターや団体会員の名簿等の取扱いを厳守し、職員や支援員・役員に個人情報の取扱いの徹底を行いました。
- ② 苦情解決責任者と第三者委員を委任し、解決に努めています。